

すみだ「」EXPO

あなたが見つけた「それ」はきっとアートです

2024.10.5(土) — 11.3(日)

【チケット(会期中有効)】

一般 3,500円 墨田区民割 2,500円 高校生・大学生 2,000円 中学生以下：無料

【各種ツアーガイド付チケット】 ツアーチケットにはEXPOチケットが含まれています

下町レジェンドツアー 5,000円／インバウンド向け通訳付きツアー 6,500円 他

※インバウンド向け通訳ツアーは当日現金でのお支払いになります

チケット購入サイト(Peatix): <https://sumidaexpo2024.peatix.com> 購入はこちらから➡



【開催場所】すみだ向島エリア(東京都墨田区 京島・八広・文花 ほか)

【総合受付】京島駅(墨田区京島3-50-12)

【開催時間】10:00-18:00 ※一部の会場やイベントなど時間外コンテンツもあります

【開催日】会期中の金・土・日・月

詳細はこちらから➡



主催



八島花文化財団

YATSUSHIMAHANA CULTURAL FOUNDATION
一般財団法人八島花文化財団

運営

すみだ向島 EXPO

すみだ向島 EXPO 実行委員会

後援 NPO 法人 向島学会 一般財団法人東京都ユース・ホステル協会

Sumida Mukoijima EXPO

すみだ「 」EXPO

あなたが見つけた「それ」はきっとアートです

すみだ向島 EXPO は、コロナ禍の 2020 年に始まり、この 5 年間途切れることなく続いてきた稀有な地域に密着したイベントです。

本年度は、これまでの開催実績を踏まえ歴史あるこの町の営みや暮らし、空気感、そして参加する人々にフォーカスし、それぞれが自由に感じとる余白をあえてコンセプトに掲げます。なお、本コンセプトは日本各地で食を通じた地方創生や芸術祭で活躍してきた食のアーティストであるソウダ ルアがその経験をもとに生み出しました。

EXPO ではそれぞれが、空白の括弧「 」の中を自由な発想と想像力で埋めていくことで、十人十色、参加者の分だけ異なるプロジェクトが生まれていきます。町にある全てのものをアートに見立て、あなたにとっての作品を見出してください。



今年のテーマは「花」と「森」

戦前からの由緒ある面影残る京島エリア全体を中心に、祝いやはじまりの象徴である「花」、そして町自体を有機的な「森」と見立て、さまざまなアーティストが作品をつくり、町中に花が咲くような一か月を提供します。具体的には、参加する華道家やフローリストたちは商店や家に花を飾ったり、花活けのワークショップを行うことで、自ずと町の人たちとの関係性に花を咲かせます。そして画家やアーティストは古い家屋を年輪を重ねた樹木に見立て、花や森を描き、町に鮮やかな色彩と写真歴史の可視化をもたらし、町と人が主役になるようアーティストが光を差し町を演出し、町が森、建物は樹木さらには暮らす人々が花と咲くような風景の実現を想定しています。



Photo by Katsuhito Nakazato

八島花文化財団

YATSUSHIMAHANA CULTURAL FOUNDATION

「八島花」(やつしまはな)とは、墨田区の北部(旧向島区)に位置する八広・京島・文花の町名に由来し、広くは向島地域を指す言葉です。関東大震災を乗り越え、東京大空襲で焼け残った京島エリアを起点に戦後復興を支えたこの地域は、現在も昭和初期のまちなみが色濃く残る、古き東京の伝統と生活が息づいています。その風景はどこか懐かしく温かみに溢れる一方で、防災や不動産開発といった多くの課題にも直面しています。

八島花文化財団では、ハード(土地や建物)、ソフト(暮らしや営み)をとともに大切な地域資源と捉えています。それらの本来の価値、新しい価値を見出し、まちの魅力を引き継いでいくための事業を展開しています。

すみだ向島 EXPO もそんな事業の一つです。まちで暮らす人、活動する人たちの一年間の集大成であり、次の一年間に向けて新たな繋がりや展望を得る、まちにとっての祭典であってほしいと思っています。



主催



八島花文化財団

YATSUSHIMAHANA CULTURAL FOUNDATION

一般財団法人八島花文化財団

運営

すみだ向島 EXPO

すみだ向島 EXPO 実行委員会

後援 NPO 法人 向島学会 一般財団法人東京都ユース・ホステル協会

Sumida Mukoijima EXPO